

中央区協働推進会議（第4回）議事要旨

1. 日時

平成20年5月7日（水）14：00～16：00

2. 場所

中央区役所別館7階B会議室

3. 出席者

【委員】

瀧澤利行（会長）、山岸秀雄（副会長）、山井理恵、古澤悦子、安嶋潔、豊田正文、小池正男

【事務局】

地域振興課長、協働推進主査

（主な議題）

1. 中間支援のあり方について

〔議事の経過〕

- 1 中間支援のあり方の基本的な考え方、機能、場所、運営主体等について事務局から説明がなされ、その後意見交換が行われた。委員からの主な意見等は以下のとおりである。
 - 活動拠点が十思スクエアで当面現状のままだとすると、そこで運営がどの程度できるのかが非常に課題である。ボランティアの育成とコーディネート面で相当比重がかかっているため、NPOを含めてどこまでやれるのか。
 - 展開の仕方として、ボランティアを育成して支援していくという方法と、NPOを中間支援的に助成して何らかの形で事業協働も含めてやるという方法では、市民活動の普及という点では共通の基盤とポリシーが必要だが、方法論はかなり違う面がある。社協のこれまでの実績に立ちながらも、中間支援拠点として、別なノウハウを持ったNPO法人にそれを委託して補うという構想であると思う。
 - その地域の事情を踏まえた上でいろいろな展開があるが、段取りを間違えると、後で発展に影響が出てくる場合があるので、慎重にうまくやるべきである。社協が一応実施する形になって、NPOに委託するときに、互いの責任の所在と、どう独自性というか対等性みたいなものを担保しながら委託するかという課題がある。
 - 運営形態としては、社会福祉協議会のボランティア区民活動センターの事業として、NPOに対する中間支援拠点、社会貢献活動の総合的な窓口の中での中間支援拠点をつくる。特に専門的な技法等に習熟しているNPO等に運営を委託して実施していく。

構造的にはこうした二重構造をつくりながら、最終的には社協本体がそこについての運営責任を負うという形でどうか。

2 次回会議については、6月13日（金）14時から行われることとなった。